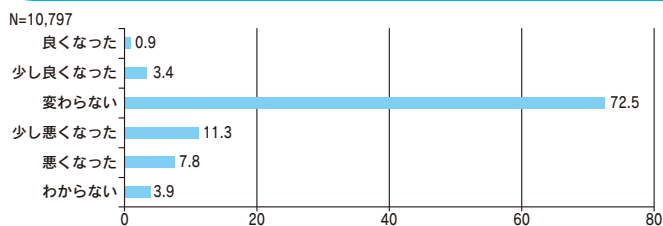


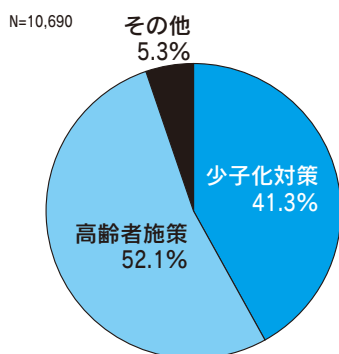
2. 景気が上向き傾向といわれていますが、この1・2年であなたの生活はどのように変わりましたか。【1つ選択】



消費増税を目前にした今回調査の生活実感は、変わらないの方が大半であり、年代別にみると、高齢者層を中心に悪くなったとの声が高くなっています。

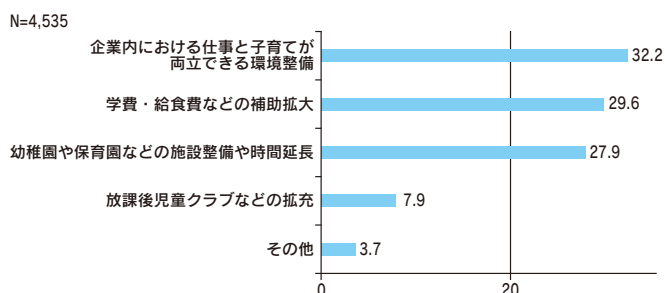
増税後、さらに生活実感として悪くなったとの声が高まるのが想定され、景気動向にも影響が出ることが想定されます。

3. 4月から消費税が8%になり、増税分は社会保障財源に使われるといわれていますが、もっとも優先してほしいことは何だと考えますか。【1つ選択】



消費税の増税分は、高齢者対策の強化を求める声が少子化対策を上回る結果にあります。今後の高齢化率の高まりを見据えた対策を優先すべきが5割強で、少子化対策を求める声は、4割強となっており、バランスよく対策を行う必要がうかがえます。

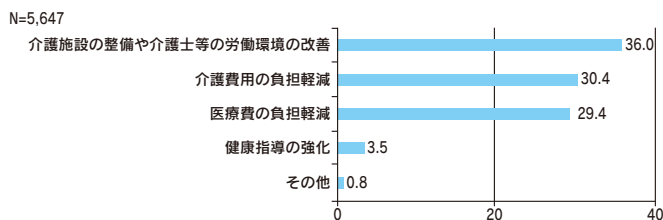
3-1. 少子化対策でもっとも優先すべきは何だと考えますか。【1つ選択】



仕事と子育ての両立に向けた環境整備を企業に求める声が多く高くなっています。

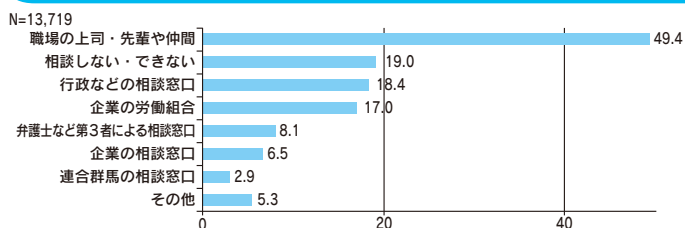
しかし、企業のみでは解決しがたい問題もあり、行政の支援と役割が重要になってくるものと考えます。

3-2. 高齢者施策でもっとも優先すべきは何だと考えますか。【1つ選択】



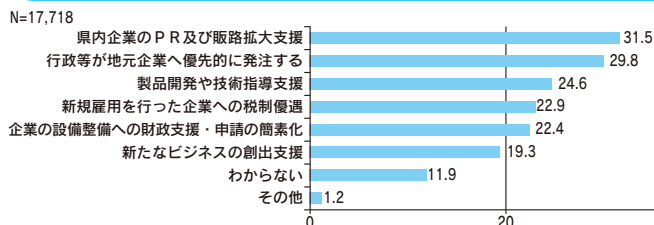
「介護施設の整備や介護士等の労働環境の改善」を求める声が高く、超高齢社会の到来の中でマンパワーを確保する必要があり、そのためには介護従事者の処遇改善が必要であるとの認識が高く、制度の改善や行政の指導・監督の強化を求めていることがうかがえます。

4. 働く上での悩み・困りごとを家族以外に相談する場合、どこに相談したいと思いますか。【複数選択可】



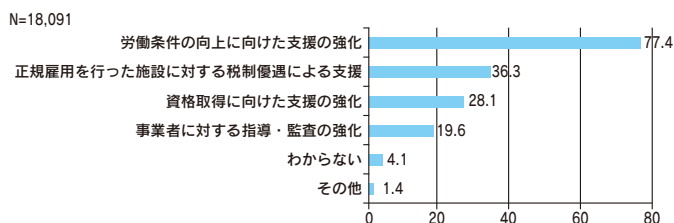
職場の身近な方へ相談される方が多い状況がうかがえます。職種によっては行政等の相談窓口を活用している状況ですが、約2割の方が相談しない（できない）となっており、「ひとりで悩まず、まずは相談を!!」との連合の取り組みの強化が求められると考えます。

5. 中小企業の活性化策としてどのような施策が有効だと考えますか。【2つまで選択】



県内企業のPR及び販路の拡大や行政における優先的な発注といった声が高く、地域における税財源を循環させながら県外へ打って出る施策を求めていることがうかがえます。

6. 医療や介護における人材不足が問題になっていますが、人材の拡充に向けた行政の役割で有効なものは何だと思いますか。【2つまで選択】



介護労働者の労働条件の改善を求める声が多く、労働環境の改善に向けた行政における支援のさらなる強化が必要と考えます。

現状や問題点の把握は行政としても大きな役割であり、対策の強化が必要と考えます。